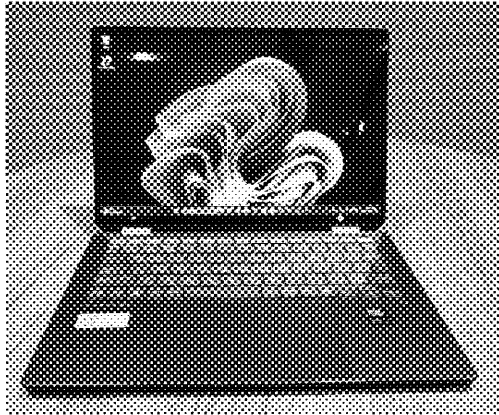


## 次世代リーダー研修／AI活用

# 日本HP、人材育成拡充

日本HP（東京都港区、岡戸伸樹社長）は、組織の変革を推進できる人材の育成を強化する。次世代リーダーの育成プログラムを2025年にも拡充したり、人工知能（AI）を活用して社員のキャリア形成を支援したりする方針を示した。パソコン（PC）市場ではPCでAIの処理を行う「AI PC」が存在感を増しつつある。日本HPは社員の自発的な学びを一段と促すことで、市場の変化に柔軟に対応可能な体制の構築につなげる。



パソコン市場ではAI PCが存在感を増しつつある（日本HPの「HPオムニブックウルトラフリップ14AI PC」）

次世代のリーダーを育成する枠組みとして「フューチャーリーダータレントプログラム」を始めた。受講者は自薦と他薦の両方で受け付け、年齢や所属部署は問わない。論理的思考力や対話の方法など、リーダーに必要な能力をオンラインと対面を交えながら1年間かけて学ぶ。25年も

### 日本HPの人材育成策の例

- ・次世代リーダーを育成するためのプログラムを開始
- ・AIを用いて各社員のキャリア形成を支援
- ・四半期に1回、上司と部下が一对一で面談
- ・ジョブ型人事制度の採用

同プログラムを継続する予定で、「参加者からの声を聞きながら進化させたい」（岡戸社長）。自社の技術を深く理解する機会を新たに設ける方針だ。

社員のキャリア形成を支援するためのプラットフォーム（基盤）「キャリア支援AIツールキャリアハブ」もこのほど導入した。具体的な人数は非開示だが、世界全体の社員が経験や職歴、スキル、キャリアへの関心などを登録する。

キャリアハブに登録した各社員の経験と、蓄積された情報を参考に、AIが空いている職種や役職などの提案をする。データの蓄積が進むにつれて、ある職種や役職に就くために必要な能力の傾向が分かりやすくなるとともに、高い精度で社員の希望と合う提案が可能になる見通しだ。

岡戸社長はキャリアハブについて「まだ使い始めた段階だが、社員のより良いキャリア形成や自己実現を支援していく」と語る。